
真実を知ってください
クリスマス
クロニック
ハーブ
スモーキング
ポット
ハッパ
ダウナー
jp.drugfreeworld.org



この小冊子が制作された理由

薬物についてのさまざまな情報が氾濫しています。学校や街中、インターネットやテレビで。その中には正しい情報もありますが、そうでないものもあります。

薬物に関して耳にするほとんどのことが、実は売人からのものなのです。かつての売人たち曰く、「買わせるためならどんなでたらめでも言う」。

薬物についての実態と真実を知ればまともな決断を下すことができます。この小冊子は、そのために制作されたものです。あなたのために。

あなたのご意見、ご感想は貴重です。ですからこの小冊子について感じたことをお知らせください。**jp.DrugFreeWorld.org** にアクセス、または **info@drugfreeworld.org** までＥメールでご連絡ください。

マリファナとは？

マリファナは世界で最も乱用されている薬物のひとつです。世界保健機関（WHO）によると、毎年2億人がマリファナを使用しています。米国では、マリファナはアルコールに次いで一般的に使用される向精神薬（人の精神状態に影響を及ぼす薬物）であり、1年以内に1,200万人近くの若者がマリファナを使用していると報告されています。

マリファナについての科学的な事実と、その通説との間には著しい隔たりがあります。一部の地域では合法なので、マリファナは無害に違いないと、多くの人が信じています。しかし、身体は合法な薬物と非合法な薬物の違いを知りません―薬物が生み出す影響のみを知るだけです。この小冊子の目的は、マリファナについての誤解を解くことです。

マリファナは大麻草から作られます。精神状態を変化させる物質は、主に花（通称「花穂」）にあり、少量が種子や葉、茎に含まれています。

ハシッシュとは、大麻草の表面から削り取られた暗褐色から淡褐色の物質を固めたものです。それらは乾燥後、棒状やボール状に形成されます。



化学物質の内容

マリファナとハシッシュには、500以上の化学物質が含まれています。中毒の原因となる化学物質は、THC（テトラヒドロカンナビノールの短縮形）です。THCは、マリファナを薬物として分類する精神作用（脳に影響を与え、気分、知覚、意識を変える）を引き起こします。

野生の植物には、動物を病気にしたり弱くしたりする毒素など、野生で自分自身を守るための特性があります。THCは、マリファナ植物にとっての防御メカニズムとして機能します。

デルタ-8*および他のTHC製品は、大麻草から抽出されます。これらの物質は、しばしばベイピング（電子タバコを吸うこと）や食用として販売されていますが、ほとんど規制されておらず、危険な副作用を引き起こす可能性があります。それらはしばしば効力を高めるために改変され、有害な化学物質を含んでいる可能性があります。

一部の人々は、マリファナは植物であり、従って「自然」であるため無害だと思っています。しかし、多くの自然界の植物は、有害であったり、有毒であったりします。

乾燥した葉を燃やし、煙を吸うのは、自然なことではありません。マリファナの煙を吸うことは、他の有害な化学物質を吸うことにもなります。

「医療大麻」について聞いたことがあるかもしれ

ません。マリファナには、CBD（カンナビジオールの短縮形）と呼ばれる化学物質が含まれており、特にてんかんや慢性的な痛みに対する健康効果の可能性があるとされています。THCとは異なり、CBDは「ハイ」を引き起こしませんが、長期間または大量の使用は肝臓の損傷や胃の問題を引き起こす可能性があることが研究によって示されています。

マリファナは薬物であり、他の薬物と同様に有害な副作用があり、この小冊子はそれを扱っています。

* デルタ-8: 大麻草由来のTHCの一形態。デルタ-8、デルタ-9、およびその他のデルタ製品は、食用とベイプ（電子タバコ）で使用されるTHCの異なる形態です。

どのように使用されているか？



マリファナは乾燥させた大麻草の葉、茎、花や種子で構成されています。通常、緑色、茶色、または灰色です。

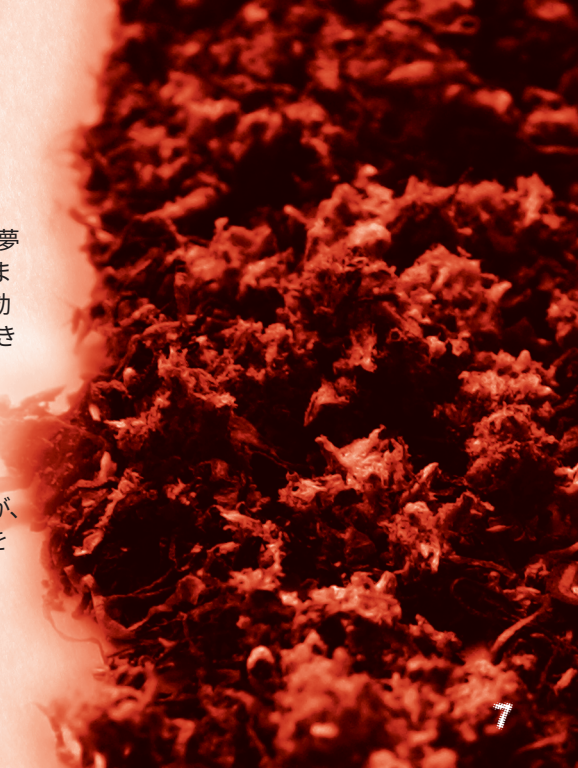
ハシッシュは、黄褐色や茶色や黒い樹脂を乾燥させたもので、棒状か球状に形成されます。マリファナやハシッシュを喫煙する時、特有のにおいが発せられます。

マリファナは、巻タバコ（ジョイント）、ドライパイプまたは水パイプ（ボング）で喫煙され得ます。大麻草から化学的に抽出され、遺伝子組み換えされた分子はベイプで吸引され得ます。時には、葉巻を開いて、タバコをマリファナと取り換えて使用されることもあります。（ブラントと呼ばれます）。また食べ物に混ぜたり（食用）、お茶として飲用されることもあります。「食用」はこの小冊子で後ほど詳しく述べられています。

マリファナの煙を吸引すると、通常、数分以内にその影響を感じます。THCは肺から迅速に血流に入り、脳やその他の器官に広がります。THC

は脳のさまざまな部分を過剰に活性化させ、ハイの状態を引き起こします。即座の感覚—心拍数の増加、身体の調整機能やバランスの低下、そして「夢のような」状態は、30分以内にそのピークに達します。これらの影響は、通常、摂取した量とTHCの効力に応じて、2時間から3時間、またはそれ以上続きます。

典型的な常用者は、タバコよりも多くの煙を吸い込み、長くため込むので、マリファナの喫煙は肺に深刻な影響を及ぼします。マリファナを吸う人は、タバコを吸う人と同様の毒素を吸い込んでいますが、マリファナはタバコよりも、血液の酸素運搬能力を5倍も減少させることを研究者たちは発見しています。



ダビング

ダビングとは、大麻からTHCを抽出して作られた、ハッシュオイルのような、高濃度のマリファナを使用することを指します。濃縮されたTHCは、濃い茶色または黄色の、粘り気のある、グミのような物質を形成します。

ダビングは、THC濃縮物を加熱し、電子タバコ、ヴェポライザー（気化器）、またはダブリグ、オイルリグと呼ばれる特別な装置で吸うことを意味します。

ダビングによる影響

ダビングは、マリファナの喫煙による影響を強めます。マリファナのTHCレベルは、通常15–30パーセントですが、ダビングすると99パーセントに達する可能性があります。

ダビングは、心拍数の急激な増加、失神、肌がゾクゾクする感覚、意識喪失、偏執症や幻覚などの精神障害症状を引き起こす可能性があります。その強力な作用のために、ダビングは事故や転倒、カンナビノイド悪阻*症候群（CHS）とし



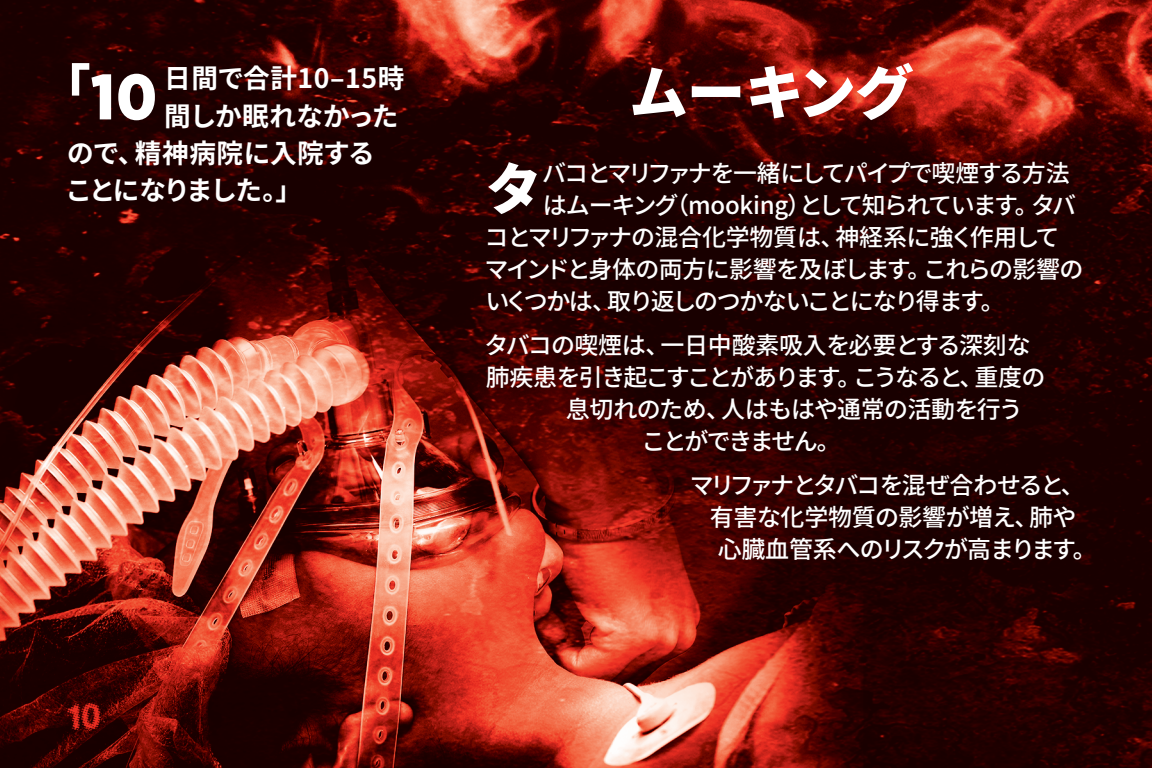
て知られる制御不能な嘔吐につながる可能性があります。ダビングは死につながることさえあります。

マリファナの合法化が全米に広がるにつれて、若者の大麻関連の緊急受診が増えました。

ダビングは、マリファナ濃縮物の抽出に使用される有害な化学物質や有毒な溶剤に使用者をさらします。

* 悪阻：過剰な、または激しい嘔吐（「過剰」を意味する「hyper」というギリシャ語と、「嘔吐」を意味する「emesis」に由来）。

「10日間で合計10–15時間しか眠れなかったので、精神病院に入院することになりました。」



ムーキング

タバコとマリファナを一緒にしてパイプで喫煙する方法はムーキング（mooking）として知られています。タバコとマリファナの混合化学物質は、神経系に強く作用してマインドと身体の両方に影響を及ぼします。これらの影響のいくつかは、取り返しのつかないことになり得ます。

タバコの喫煙は、一日中酸素吸入を必要とする深刻な肺疾患を引き起こすことがあります。こうなると、重度の息切れのため、人はもはや通常の活動を行うことができません。

マリファナとタバコを混ぜ合わせると、有害な化学物質の影響が増え、肺や心臓血管系へのリスクが高まります。

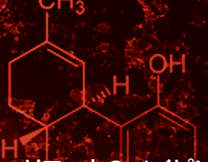
食用

食用とは、THCを含んだ食品および飲料です。例えば、ブラウニー、クッキー、キャンディー、ソーダ、お茶などです。多くの食用パッケージは、子どもたちがよく知っているお菓子やスナックに似ており、これらの高濃度THC含有製品が無害であるという印象を作り出しています。違います。

マリファナを吸うと、すぐにその作用を感じます。マリファナの入った食べ物や飲み物を取ると、消化するのに30–60分かかるので、薬物の作用はさらに長い時間が経ってから現れます。このため、取り過ぎてしまうことがよくあります。その作用が最終的に現れると、ひどい中毒状態になる可能性が大幅に高まります。

食用のTHC含有量は大きく異なる可能性があり、その結果、極度の偏執症や不安症、そして場合によっては精神病的な発作さえ報告されています。これらは食用に関するいくつかの顕著な例です：

- ニューヨーク・タイムズ紙の記者は、マリファナ入りのキャンディー・バーを食べて、その後8時間「幻覚状態」で身体を丸くしていました。
- ワイオミング州の10代の若者が、マリファナを混入したクッキーを6枚食べました。約1時間後、彼は何も感じなかったので、残りのクッキーも食べました。薬物の影響が現れた後、彼は4階のバルコニーから飛び降りて死にました。



ベイピング

マリファナのベイピングは、ヴェポライザーや電子タバコの中にそれ（または70–90パーセントのTHC濃縮物を含むTHCオイルポッドや、カートリッジ）を入れ、その蒸気を吸引する行為です。

脳や身体の他の部分に対する高濃度THCの有害な影響に加えて、特に10代の若者や成人の間で、マリファナとタバコのベイピングは、別のタイプの肺損傷を引き起こす可能性があります。これはEVALI（E-cigarette or Vaping product use-Associated Lung Injury、電子タバコまたはベイプ製品使用による肺損傷）と呼ばれ、呼吸不全や死につながる可能性があります。

疾病対策予防センター（CDC）によると、EVALIは1年間に70人近くの死亡、そして2,700人以上の入院を引き起こしました。これらの犠牲者の多くは、生涯にわたる肺の障害に苦しんでいます。ある入院患者は17歳で両肺移植を受けることになりました。

CDCはまた、EVALIに関連して調査されたベイプの事例の82パーセントにマリファナが含まれていたと結論付けました。このため、CDCと米国食品医薬品局（FDA）は、人々にTHCベイプの使用を完全に中止するようアドバイスしています。

通称

マリファナ

ブレイズ
つぼみ
ダガ
ドープ
420
ガンジャ
グラス
ハーブ
自家栽培
J
メリージェーン
ポット
パフ
リーフ
スカンク
テキサス・ティー
トゥリーズ
ハッパ

ハシッシュ

バッダー
クランブル
ハッシュ
ハニーオイル
クッシュ

量に関する言葉

ダイムバッグ: 1グラムのマリファナ
ダブ・オブ・バド: 2グラムのマリファナ
クォーター・オブ・バド: 4分の1オンスのマリファナ
ハーフ・ア・ジップ: 0.5オンスのマリファナ
ジップ: 1オンス（28グラム）のマリファナ
QP: 4分の1ポンド（約113グラム）のマリファナ

マリファナの変遷

マリファナやハシッシュのような薬物が作られる大麻草は、2,000年以上にわたって栽培されてきました。

植物に含まれるTHCの量が、その薬物の強さを決定します。マリファナに含まれるTHCの量は一定ではなく、ここ数十年で着実に増加しています。

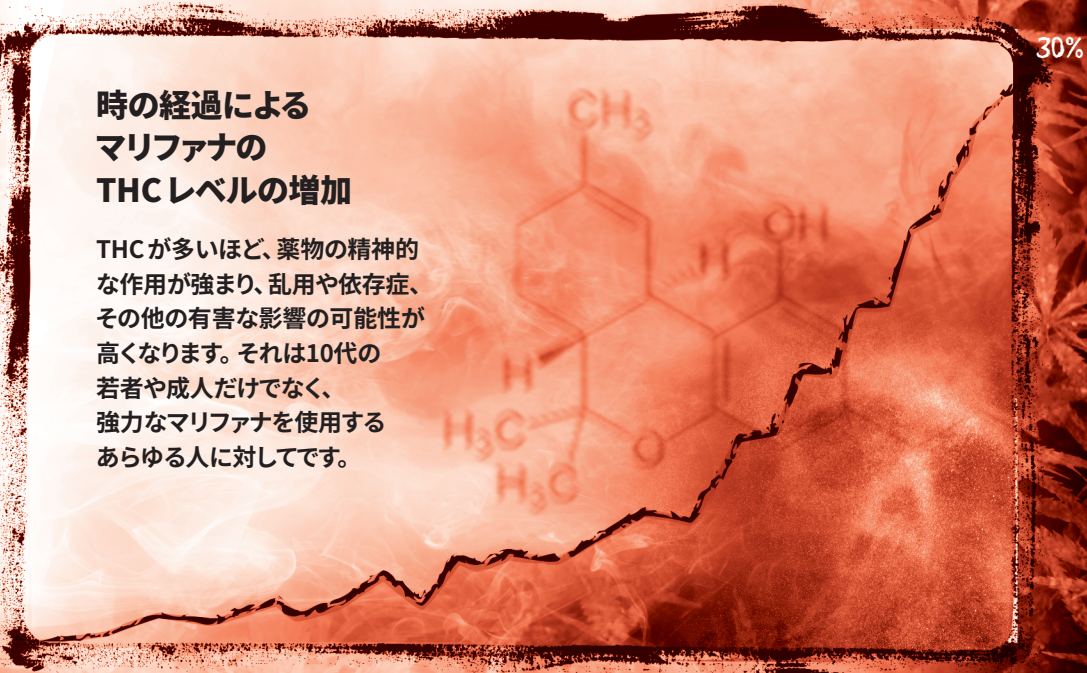
現代の技術を使用して、マリファナ生産者は、過去よりもはるかに高いレベルのTHCを含む大麻品種を開発しました。現在、米国におけるマリファナのTHC平均含有量は17–28パーセントで、最高レベルは約37パーセントです。

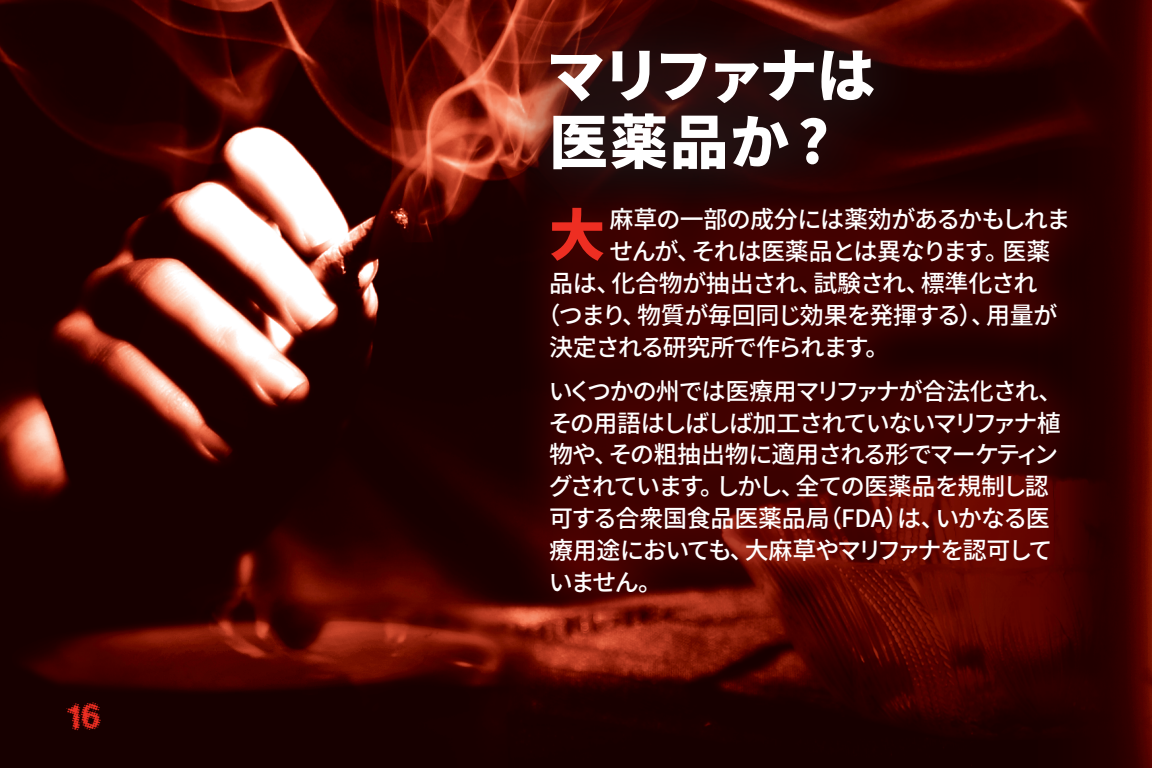
比較すると:

- 1960年代後半から1970年代にかけて喫煙されたマリファナには、THCが2パーセント未満でした。
- 1990年代までに、THCレベルは約4パーセントに増加しました。
- 2020年代、平均的な効力はほぼ30パーセントに達しています。
- ダブ（マリファナから抽出した濃縮物の一種）や食用にはさらに多くのTHCが含まれており、時には100パーセント近くに達することもあります。

時の経過による
マリファナの
THC レベルの増加

THC が多いほど、薬物の精神的な作用が強まり、乱用や依存症、その他の有害な影響の可能性が高くなります。それは10代の若者や成人だけでなく、強力なマリファナを使用するあらゆる人に対してです。





マリファナは医薬品か？

大麻草の一部の成分には薬効があるかもしれませんが、それは医薬品とは異なります。医薬品は、化合物が抽出され、試験され、標準化され（つまり、物質が毎回同じ効果を発揮する）、用量が決定される研究所で作られます。

いくつかの州では医療用マリファナが合法化され、その用語はしばしば加工されていないマリファナ植物や、その粗抽出物に適用される形でマーケティングされています。しかし、全ての医薬品を規制し認可する合衆国食品医薬品局（FDA）は、いかなる医療用途においても、大麻草やマリファナを認可していません。

カンナビジオール（CBD）と呼ばれる大麻草に含まれる化学物質は、子どもの2つのまれで重度のてんかんによる発作の治療に承認されています。FDAはまた、合成THCから作られた錠剤の形態の薬をいくつか承認しました。それは、長期にわたってまたは大量に摂取されると、不安、偏執症、記憶障害、目まいを引き起こす可能性があります。両方の化合物が精神的および身体的健康に及ぼす影響を完全に理解するためには、さらなる長期的な研究が求められます。

マリファナのマーケティング

マリファナを医薬品としてマーケティングすることで、薬物に対する認識は変わりましたが、その危険性に関する基本的な事実は依然として残っています。そして、合法化に関する報道が議論される中、合法だから安全で無害だというわけではありません。タバコは合法ですが、喫煙が健康に害をもたらすというリスクについて議論の余地はありません。アルコールは合法ですが、アルコール依存症と闘っている人の数やアルコール乱用に関連する病気の数を見てください。かつてヘロインは、モルヒネ中毒の治療法として販売され、調査がマーケティングに追いついて非常に中毒性があることが分かるまで、咳止めシロップに含まれていました。

結論：マリファナの喫煙は肺や心血管系（心臓や血管）に損傷を与える可能性があり、喫煙、ベイプ、食用といった方法に関わらず、マリファナに含まれるTHCは、心身に有害な影響を及ぼします。

マリファナが運転に与える影響

マリファナは、判断力、運動調整、反応時間を著しく低下させます。これらは全て、安全に運転するための重要な技能です。それは事故に関与したドライバーの中で、アルコールに次いで二番目に多い精神活性物質であり、研究によって、血中THC含有量と運転能力の低下の間に直接的な関係があることがわかっています。

ヨーロッパの2つの調査によると、THCが体内にあるドライバーは、薬物やアルコールを使用していないドライバーと比べ、致命的な衝突事故を起こす可能性が約2倍高いことが

分かりました。同様に、血中のTHC濃度が高いドライバーによる事故で、彼らが事故の原因となる可能性が3倍から7倍高いことが示されました。多くのマリファナ使用者が、喫煙後安全に運転できると信じていますが、そのリスクは深刻です。

アメリカ自動車協会（AAA）の報告によると、ワシントン州での致命的な衝突事故でのマリファナ検査で陽性となったドライバーの数は、マリファナの合法化により2倍に増えました。合法化前、マリファナの影響を受けたドライバーは、交通事故死に関与したドライバーの約8.8パーセントを占めていましたが、合法化後、この割合は2倍以上になりました。

マリファナの有害な影響

マリファナ使用の即時的な影響には、速い心拍、方向感覚の喪失、そして身体的な調整の欠如が含まれます。使用者はまた、不安感、偏執症、不信感、パニックも経験する可能性があります。しかし、問題はこれらだけではありません。科学研究によれば、大麻の活性成分THCは数週間から数カ月にわたって体内で検出され得ます。

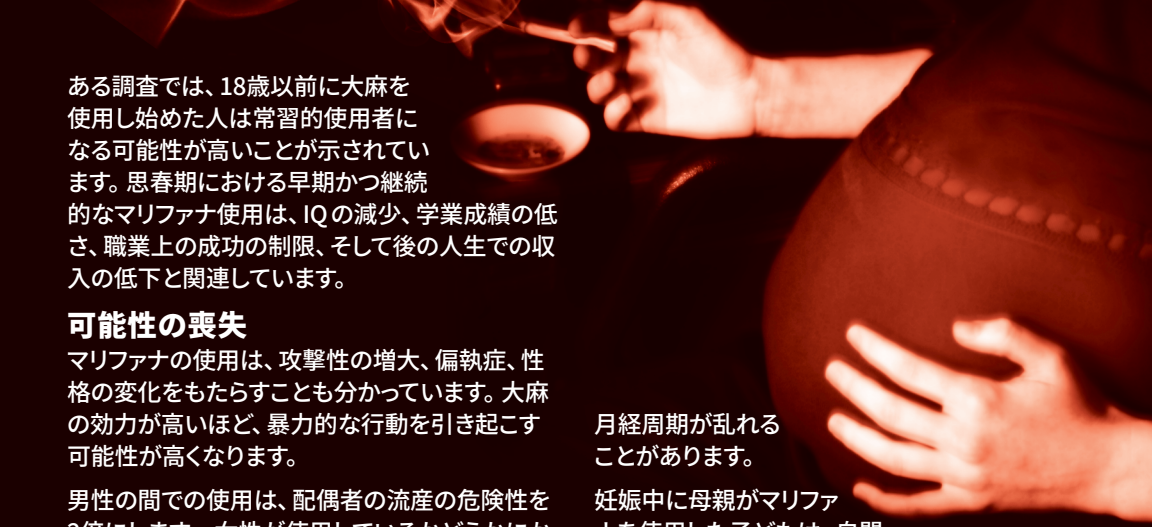
大量使用は、多くの健康問題を引き起こす可能性があります。マリファナには、タバコの煙よりも癌を引き起こす化学物質が50パーセント多く含まれており、血液の酸素運搬能力をタバコの5倍も損なっています。

肺への悪影響に関して言えば、1本の大麻ジョイントは2.5から5本のタバコに相当します。

依存症？

以前の認識とは反対に、マリファナは依存症を引き起こす薬物であることが分かりました。マリファナ使用者の約30パーセントがマリファナ依存に苦しんでいます。18歳以前にマリファナを使い始める若者は、マリファナ依存を発症する可能性が4倍から7倍になります。





ある調査では、18歳以前に大麻を使用し始めた人は常習的使用者になる可能性が高いことが示されています。思春期における早期かつ継続的なマリファナ使用は、IQの減少、学業成績の低さ、職業上の成功の制限、そして後の人生での収入の低下と関連しています。

可能性の喪失

マリファナの使用は、攻撃性の増大、偏執症、性格の変化をもたらすことも分かっています。大麻の効力が高いほど、暴力的な行動を引き起こす可能性が高くなります。

男性の間での使用は、配偶者の流産の危険性を2倍にします―女性が使用しているかどうかにかかわらずです。マリファナの使用は精子細胞の構造を変え、変形させます。少量のマリファナでさえ、男性の一時的な生殖機能障害の原因になることがあります。女性がマリファナを使用すると、月経周期が乱れることがあります。

妊娠中に母親がマリファナを使用した子どもは、自閉症と診断される可能性が65パーセント高くなります。妊娠中にマリファナにさらされた子どもは知的障害や学習障害を発症するリスクが高まる可能性もあります。



短期的な影響

- 心拍数の増加
- 感覚の変調
- 時間感覚の変調
- 気分の変化
- 考え、問題解決を行うことの困難さ
- 記憶障害
- 注意力が短い
- 不安
- 恐れ
- 不信
- 偏執症
- 判断力の低下
- 危険な運転行動
- 幻覚（大量に摂取した場合）
- 妄想（大量に摂取した場合）
- 精神異常（強力なマリファナを定期的に使用した場合、リスクが最も高い）

長期的な影響

- 学校の成績の低下と落第の高い可能性
- 知能指数の低下（思春期から長期使用した場合8ポイントの低下）
- 思考障害、複雑な操作を学び行う能力の低下
- 満足感と達成感の減少
- 心臓発作の危険性の増加
- 経済的な困難
- 人間関係の問題と近親者間の暴力
- 失業したり、良い仕事を得られない可能性が高い
- 依存症：マリファナを使用する10人に1人が依存症になる。18歳以前に始めた人では、依存率は6人に1人に増加。
- アルコール中毒のリスク増加
- アヘン剤乱用のリスク増加



「親友から、『マリファナ1本、1リットルの大ジョッキー杯のビールをやるだけの度胸なんてないよな』という挑発に乗って、やり始めました。14歳の時でした。それから7年経ち、中毒は行き着くところまでいってしまいました。もはや高揚感を味わうためではなく、正常を装うためだけに使っていました。

自分自身や自分の能力にも否定的になり始めました。私は被害妄想が大嫌いでした。いつもびくびくしている自分、友人たちを信じられない自分が本当に嫌でした。被害妄想がひどくなり、あらゆる人を遠ざけ、気が付くと誰も陥りたくないようなひどい状態になっていました。ひとりぼっちでした。朝起きると薬物を使い始め、一日中使い続けていました。」―ポール

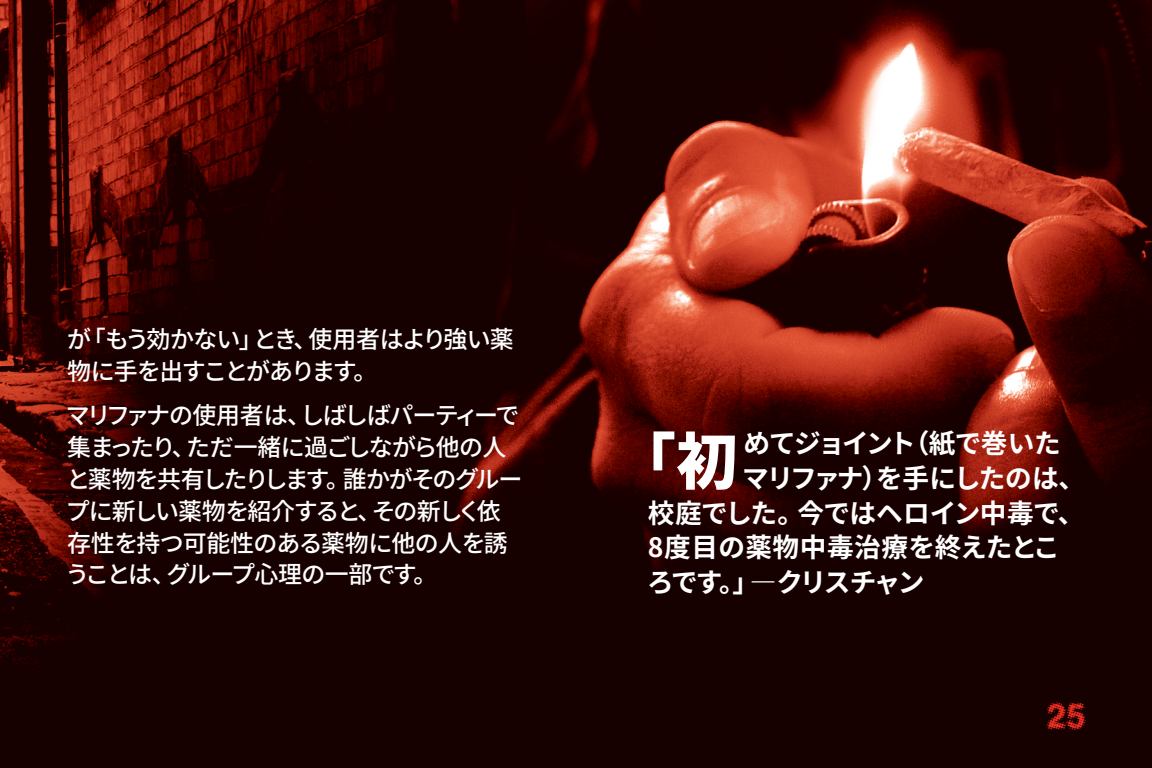
薬物乱用への道

嗜好用マリファナの使用者は、それがつくり出すハイやいい気分のために薬物を服用します。継続的な使用は耐性がつき、より強力なマリファナ、高濃度のダブ、食用の摂取、さらにはより強い薬物を試すようになります。

マリファナ自体は、人を直接他の薬物へと導くわけではありませんが、ほとんどの依存者はマリファナやアルコールから始めました。

ある調査によると、一度でもマリファナの使用経験のある人の約半数が、後に他の薬物も使用するようになることがわかりました。コカインやヘロインを使用したことのあるほとんどの人（95-97パーセント）が、マリファナから始めました。

人は望ましくない状態や感情から逃れるために薬物を取ります。マリファナは、使用者がハイになっている間、これらの問題を覆い隠します。しかし、その「ハイ」な状態が失せていくと、その問題や望ましくない状況は、以前より強烈になって戻ってきます。マリファナ



が「もう効かない」とき、使用者はより強い薬物に手を出すことがあります。

マリファナの使用者は、しばしばパーティーで集まったり、ただ一緒に過ごしながら他の人と薬物を共有したりします。誰かがそのグループに新しい薬物を紹介すると、その新しく依存性を持つ可能性のある薬物に他の人を誘うことは、グループ心理の一部です。

「初めてジョイント（紙で巻いたマリファナ）を手にしたのは、校庭でした。今ではヘロイン中毒で、8度目の薬物中毒治療を終えたところです。」—クリスチャン



煙幕の裏側

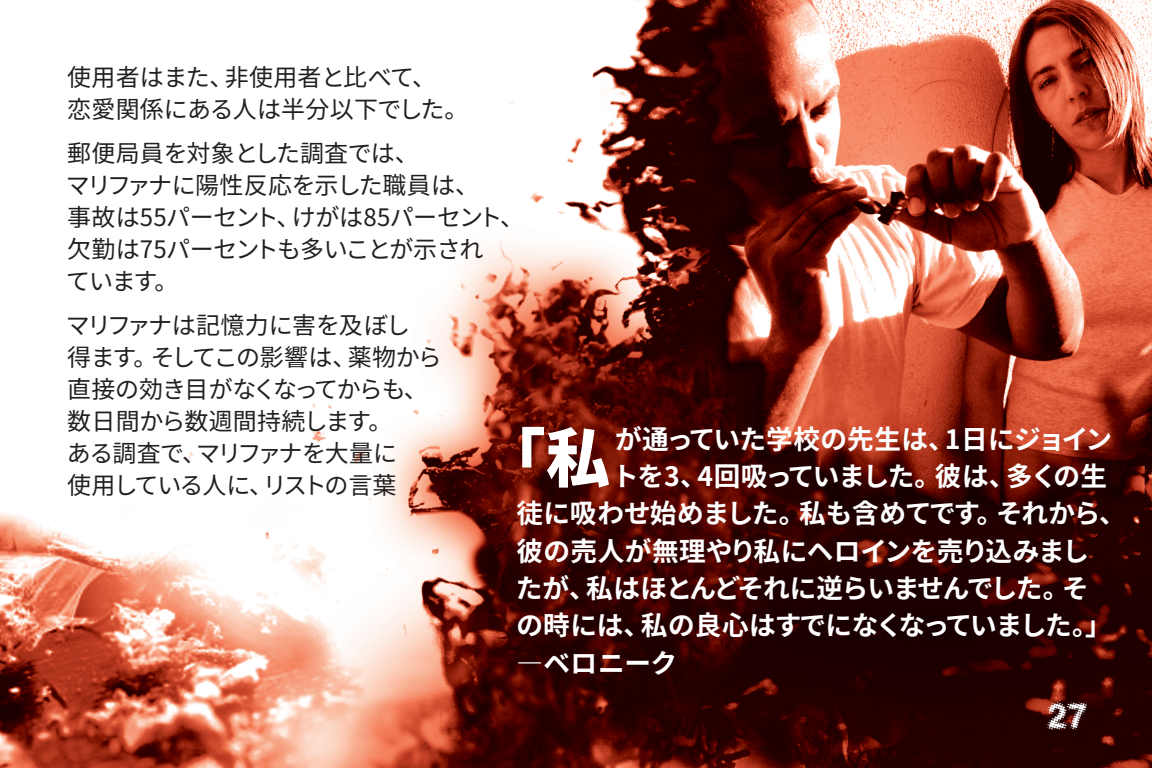
マリファナの使用は、使用者にとって有害なだけでなく、社会にとってのリスクにもなり得ます。

調査の結果、マリファナは日常生活で問題を引き起こす可能性があることを示しています。ある調査によると、マリファナを常用している若者は他の違法薬物を使用する可能性が20倍、大酒飲みである可能性は4倍、そして毎日喫煙する可能性は7倍高いことが分かりました。

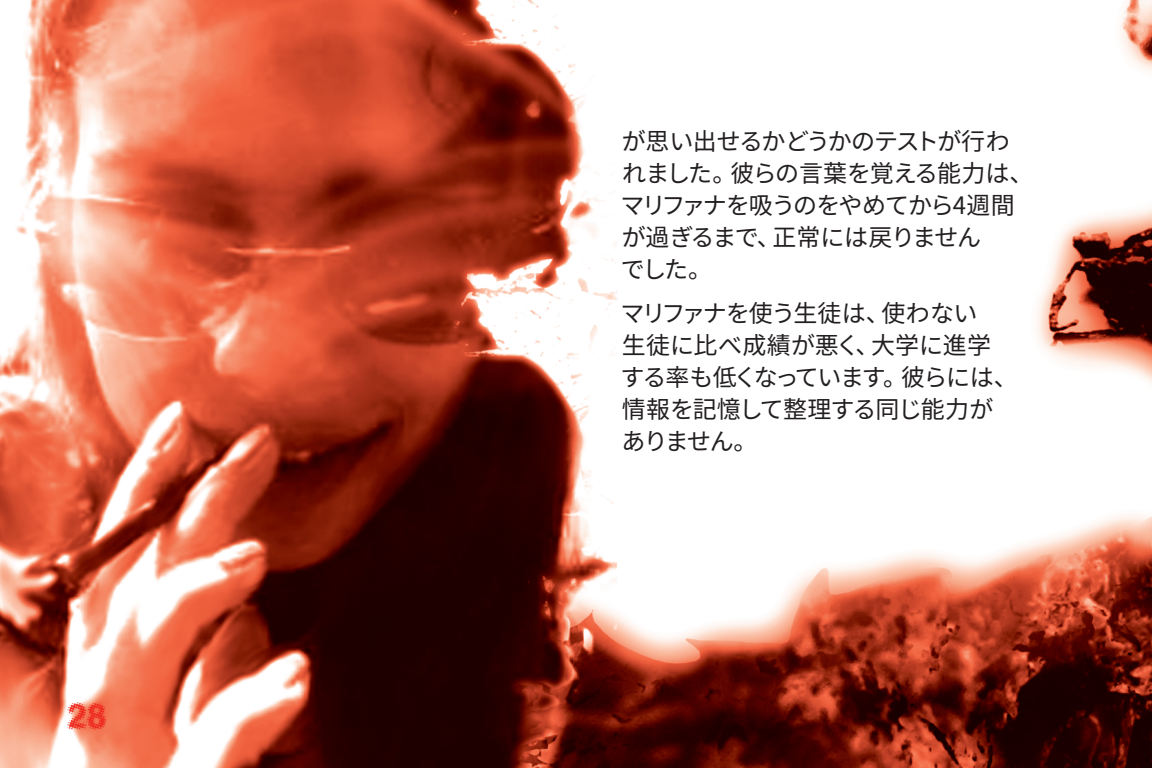
使用者はまた、非使用者と比べて、恋愛関係にある人は半分以下でした。

郵便局員を対象とした調査では、マリファナに陽性反応を示した職員は、事故は55パーセント、けがは85パーセント、欠勤は75パーセントも多いことが示されています。

マリファナは記憶力に害を及ぼし得ます。そしてこの影響は、薬物から直接の効き目がなくなってからも、数日間から数週間持続します。ある調査で、マリファナを大量に使用している人に、リストの言葉



「私が通っていた学校の先生は、1日にジョイントを3、4回吸っていました。彼は、多くの生徒に吸わせ始めました。私も含めてです。それから、彼の売人が無理やり私にヘロインを売り込みましたが、私はほとんどそれに逆らいませんでした。その時には、私の良心はすでになくなっていました。」
—ベロニーク



が思い出せるかどうかのテストが行われました。彼らの言葉を覚える能力は、マリファナを吸うのをやめてから4週間が過ぎるまで、正常には戻りませんでした。

マリファナを使う生徒は、使わない生徒に比べ成績が悪く、大学に進学する率も低くなっています。彼らには、情報を記憶して整理する同じ能力がありません。

薬物の売人が
よく使う誘い文句

合法であろうと違法であろうと、マリファナは大きなビジネスであり、その目標は大金を稼ぐことです。

10代の若者に薬物使用を始めた理由を尋ねる調査が行われ、55パーセントが「友人からの圧力」と答えました。マリファナ業界と、薬物の売人は、マリファナの使用は無害で、「君を助け」、「気分を高め」、「仲間に溶け込むるようし」、「カッコよくなれる」ものだと思わせようとしています。

マリファナ業界が繁栄するためには、依存した顧客が必要です。なぜなら、彼らの利益の大部分は、たまに使う人ではなく、依存者によって生み出されているからです。若いうちに始めたら依存症になる可能性が高いため、マリファナのマーケティングの多くはあなたのような若者をターゲットにしています。

利益のために、彼らはあなたに薬物を買わせようとどのようなことでも言うでしょう。

薬物の売人は自分がお金を手に入れられるなら、それがあなたの人生を台無しにしようが気にしません。彼らが気にかけているのはお金だけです。

薬物についての真実を知ってください。そうすれば自分自身で正しく判断できるはずです。

真実を知ってください：薬物



薬物は基本的に毒です。その作用は、摂取する量によって決まります。

少し摂取すると、活動をより活発にする中枢神経刺激剤として作用します。多めに摂取すると、活動を抑制する鎮静剤として作用します。さらに多量に摂取すると毒となり命を奪います。

これはどの薬物にも当てはまります。こうした作用を引き起こすのに必要な量が違うだけです。

それだけではなく、多くの薬物には人のマインドにも影響を及ぼす弊害があります。薬物を取っている人が自分の周囲で起こっていることを知覚しても、それは歪んだものになってしまう可能性があります。その結果、その人の行動は奇妙だったり、不合理であったりするかもしれません。暴力的になることもあるでしょう。

薬物は、全ての感覚を遮断します。望ましい感覚も望ましくない感覚もです。そのため、短期的には痛みを和らげるために役に立ちますが、同時に人の能力や機敏さを消し去り、思考を不明瞭にします。

医薬品は、身体の働きを良くしようとして、何かを速めたり、遅くしたり、身体の働きを変えることを意図した薬物です。時には必要ですが、薬物であることに変わりはありません。中枢神経刺激剤や鎮静剤といった薬物を取り過ぎれば命を落とすこともあります。したがって、医薬品は規定通りに使用されない場合、違法薬物と同様に危険なものになり得ます。

なぜ人は薬物を取るのでしょう？

人が薬物を取る理由は、自分の人生を変えたいと思うからです。

若い世代の人たちが薬物を取る理由には、以下のものがあります。

- 周りとうまくやっていきたい。
- 問題から逃避、またはリラックスするため。
- 退屈を紛らわすため。
- 大人になったような気がするから。
- 反抗するため。
- どんなものか試してみたい。

こういった若者は、薬物が問題を解決してくれると思っているのです。しかし、結局のところ薬物は問題にしかなりません。

自分の問題に直面することが困難なこともあるでしょう。しかし、薬物によって解決しようとしている問題よりも、薬物を使用した方が常に悪い結果を招きます。

本当の解決策は、事実を認識し、最初から薬物など使用しないことです。

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズは、これまでに20以上の言語で出版され、世界中で何百万部も配布されてきました。

新しい薬物が次々と世の中に出回っており、その影響に関する新たな情報が知られるようになっています。本シリーズはそうした新しい情報を盛り込んだ最新版です。

これらの小冊子シリーズは、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする非営利の公益法人「薬物のない世界のための財団」によって出版されています。

財団は、その国際防止ネットワークを通して各種教育資料や助言を提供したり、調整を行ったりしています。また、青少年や保護者、教育者やボランティア団体、政府機関ばかりではなく、薬物乱用のない人生を送ることに関心のある人なら誰とでも協力しています。

参照文献：

この小冊子をまとめるのに使われた参照文献：
jp.DrugFreeWorld.org/refs

写真：20、22ページ：Alamy

知っておくべき真実

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズには、マリファナ、アルコール乱用、フェンタニル、危険ドラッグ、エクスタシー、コカイン、クラック・コカイン、覚せい剤、有機溶剤 / 吸入ガス、ヘロイン、LSD、処方薬乱用についての正確な情報がまとめられており、読者が自分の意志で薬物のない人生を送ることができるように役立つ内容になっています。

無料オンライン・コースを行う、または地域の薬物のない世界支部とつながるには、jp.DrugFreeWorld.org にアクセスしてください

薬物のない世界のための財団

jp.DrugFreeWorld.org • info@drugfreeworld.org

1 (888) 668-6378 • 1 (818) 952-5260

この小冊子をダウンロードするには ここをスキャン

© 2025年 Foundation for a Drug-Free World. 不許複製。Truth About Drugsおよび薬物のない世界のための財団のロゴは Foundation for a Drug-Free Worldが所有しており、使用にあたってはその許可が必要です。#S001562 - Japanese